

平庭高原周辺のイベント紹介

ガタゴンまつり



毎年8月の中旬に山形町川井地区で開催されるイベント。町内各地区の有志によるナニヤドヤラ流し踊りや郷土芸能のほか、みこしや山車が商店街を練り歩きます。

ガタゴン広場では、地元の小中学校の踊りや葛巻高校の郷土芸能演舞などのステージイベントが開催。夜には懸賞付き盆踊り大会が行われ山形町の夏を彩ります。

平庭高原闘牛大会



平庭高原闘牛場では年3回闘牛大会を開催しています。(近年は若い牛を対象にした練習会「わかば場所」も開催) 東北で唯一の闘牛大会で、その起源は、江戸時代までさかのぼるといわれています。古くから日本短角牛種の産地であった当地域では、塩を盛岡方面に運んでいました。その際に先頭に立つ牛を決めるために牛の角突きをしたことが闘牛の始まりとされています。

平庭高原スキー場まつり



日本でも珍しい海を望むことができる平庭高原スキー場。2月の上旬に行われる平庭高原スキー場まつりは、スノーパークゴルフや雪上宝さがし大会などスキー場ならではのイベントのほか、山形村短角牛を使ったベゴ汁の販売や特産品が当たるビンゴ大会などのイベントが実施されます。夜には幻想的なたいまつ滑走、そして花火大会が行われ、澄み切った夜空に大輪の花を咲かせます。

つつじまつり



毎年6月の上旬に開催されるイベント。平庭高原はシラカバだけでなく、ツツジの群生地としても有名です。この時期は新緑と深紅のツツジに高原全体が包まれます。高原をめぐる遊歩道から見ることもできるツツジの群落を楽しみながら、久慈市と葛巻町で行われるさまざまなイベントをお楽しみください。同日は平庭高原闘牛大会つつじ場所も開催されています。



「山形町白樺の里」づくり

市では「平庭高原『森の恵み・白樺の一滴』活用推進協議会」を中心に、平庭高原とその一帯、各集落のシラカバ群落や山形町最大の魅力であるとして、シラカバ群落の保全・管理と美しいむらづくりを推進しています。

自然景観を生かした美しいむらづくり

日本一の白樺美林を保存・管理し、より美しく見せるため、シラカバ林の手入れを実施。関係者だけでなく、市民ボランティアも参加し、シラカバ林内の草刈りや倒木の撤去を行っています。

また、観光客が平庭高原を訪れた際に、写真をきれいに撮れる場所が分かるように「View Spot」を10カ所選定。看板設置とマップを作成し情報発信しています。

「食」を活用した体験型観光の推進

日本一の白樺美林を活用した観光モデルコースを造成

し、シラカバ林の森林浴やシラカバ樹液を使った食事を中心に、山形の魅力である闘牛大会や自然体験、郷土料理づくりを盛り込んだモデルツアーを実施しました。関東地方からの参加者は「美しいシラカバ林が心を癒してくれました。心のこもったおもてなしに感動しました」などシラカバに魅了された感想を述べました。

「デイスカパー」農山漁村の宝」選定

これらの活動が認められ平成29年11月、農山漁村活性化の優良事例が選ばれ、東北農政局「デイスカパー農山漁村(むら)の宝」に選定されました。選定を受けて協議会の下館満吉会長は「3年間の取り組みの集大成。地域と一緒に進んでの活動が形になり、それが評価されたと思います。これをはじめに観光や商品販売にさらに力を入れ、雇用にもつなげていきたいです」と今後の意欲を述べました。